

Yell

エール

血液センター広報誌



献血は、のアクション！

No.05
2017.Winter



Donor
Blood
Center
Patient

TOPICS



・Yell's **INTERVIEW**

- ・群馬県献血功労者等表彰式開催
- ・輸血を受けた患者さんの声
- ・小学校6年生の児童が献血をテーマに受賞
- ・献血団体等紹介



日本赤十字社 群馬県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society



輸血は患者さんの 救助のために欠くことの できない**重要な医療**



小倉 秀充 医師

前橋赤十字病院血液内科部長。院内輸血委員会の委員長。診療科では悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などのリンパ系腫瘍を中心に治療を行っており、症例数は県内でもトップクラスである。

皆さまに献血していただいた血液は、輸血を必要としている患者さんの待つ医療機関へ届けられます。輸血用の血液が患者さんに使用されるまでを、前橋赤十字病院血液内科の小倉部長にお伺いします。



輸血委員会のメンバー。小倉先生を中心に、左は中西看護師（臨床輸血認定看護師）、右に相馬検査技師（臨床検査科部長）。後ろの冷蔵庫には血液製剤が保管されている。

Q 前橋赤十字病院ではどのような患者さんに輸血をすることが多いですか？

当院は**県内唯一の高度救命救急センター**のため、交通事故や高所転落などの**大きなケガ**に対する**緊急輸血**が多いです。その他にも、一般的な手術や、血液疾患の治療など、輸血が必要な病気は多岐に渡っています。

Q 前橋赤十字病院では、平成28年度に何人の患者さんに輸血されたのですか？また、どの位の量が使われたのですか？

約**1,000人の患者さん**に輸血されました。赤血球製剤は約1,120 L、新鮮凍結血漿は約600 L、血小板製剤は約180 Lです。

Q 患者さんに輸血をするときの手順はどのようにされているのですか？

院内の輸血実施マニュアルに従い、次の流れで行っています。

- ①輸血同意書の説明と署名を得る。（インフォームド・コンセント）
- ②血液型を2回検査する。
- ③来院時に貧血や輸血用の検査のための採血をしながら、輸血用の針を挿入する。
- ④輸血の準備ができれば、検査室から使用する部署に連絡が来る。
- ⑤検査室で臨床検査技師と看護師もしくは看護助手で血液製剤が確かにその患者さん用のものであるか照合する。
- ⑥輸血開始前に患者さんに氏名、血液型を言っていただき、血液製剤が正しいか再度照合し、輸血を開始する。
- ⑦輸血開始から定期的に副作用がないか観察に伺う。



献血者へ一言
お願いします。

いつも献血にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様の善意により血液製剤が生まれ、必要な患者さんに届けられ、使用されています。輸血は患者さんの救命のために欠くことができない重要な医療です。今後も献血へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



群馬県献血功労者等表彰式を開催しました

平成29年度群馬県献血功労者等表彰式が開催されました。献血運動の推進に積極的にご協力いただき、他の模範となる実績を示した会社、事業所、地域組織、学校及び個人の献血功労者等1,231名に対し、表彰状及び感謝状等の贈呈が行われました。



群馬県献血推進特別功労者（団体）知事章

個人…1名 団体…4団体

群馬県献血推進協議会長感謝状

個人…851名 団体…31団体

日本赤十字社社業功労者社長特別表彰

団体…5団体

日本赤十字社献血有功章等

- ・ 金色有功章（個人） …………… 99名
（献血団体） …………… 11団体
- ・ 銀色有功章（個人） …………… 188名
（献血団体） …………… 12団体
- ・ 支部長感謝状金枠（献血団体） …………… 12団体
- ・ 支部長感謝状銀枠（献血団体） …………… 4団体
- ・ 銀色有功章（献血推進団体） …………… 3団体
- ・ 支部長感謝状銀枠（献血推進団体） …………… 1団体



厚生労働大臣表彰状

株式会社明電舎 太田事業所



厚生労働大臣感謝状

NSK ステアリングシステムズ株式会社 総社地区
理研鍛造株式会社
株式会社科学飼料研究所 高崎工場
高崎自動車整備大学校
群馬県立高崎北高等学校
千代田工業株式会社
株式会社トッパンパッケージプロダクツ群馬センター工場
群馬県立新田暁高等学校



私が献血を始めたのは30代の頃だったと思います。赤い献血手帳に記録される回数と、後日送られて来る健康のバロメーターが知リたかったと言う単純なものでした。病気とは全く無縁な「元気印」でしたから。

月日が流れて現在高齢者となり、最近白血球の病気が見つかり輸血をしなれば治る道がない事を知りました。

病院のベッドから輸血の管を見上げて、献血をして下さった見知らぬ人の優しさが見えない絆に感謝を込めて手を合わせております。

元気になったら、もう献血の出来る年齢ではないので違う形で社会に恩返しをしたいと思っております。

きみえさん 79歳

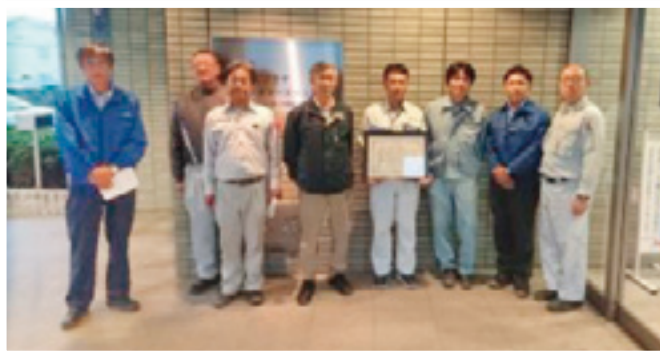
「みんなに献血を知ってもらいたい」という思いを込めて 小学校6年生の児童が献血をテーマに受賞

夏休み親子献血教室（太田コース）に参加した高橋一彩さんが、学んだことを題材にして、10月20日に太田市教育委員会より夏休みの理科学研究作品コンクールで表彰されました。

普段行っている図書館の隣に献血ルームがあったことが調べようと思ったきっかけであり、レポートには血液の成分や献血の流れ、血液製剤ができるまでの工程が記載されておりました。一彩さんは、「みんなに献血を知ってもらいたいと思いながらレポートを作りました。16歳になったら献血をしたいです。」と話していました。



太田市立沢野小学校 6年生 たかはし ひいろ 高橋 一彩さん



セキスイハウス関連会社にて社会貢献活動の一環として長年にわたり献血にご協力いただいている団体様です。本年、群馬県献血推進協議会長感謝状を贈らせていただきました。

**次世代を担う
学生献血者**

高等学校

桐生高校



高崎商科大学附属高校



渋川女子高校(JRC部)



小さなお客さま

お客様が訪問

in 前橋ルーム



夏休み親子献血教室(前橋コース)に参加した、櫻井美里さん(小4)が妹の紀花さん(小1)と一緒に、参加した時の感想を作文にして持ってきてくれました。血液や採血に関することについて驚きや疑問などが書かれており、「すごく楽しかったです。」と締めくくられていました。前橋ルームのスタッフもとても嬉しかったようです。ありがとうございました。